

関係機関・団体長
病虫害防除員
農薬管理指導士

】 様

山口県病虫害防除所長

ミカンハダニの発生状況と防除対策 (技術資料第 9 号) について

このことについて、下記のとおり送付しますので防除指導の参考にしてください。

記

1 発生状況

- (1) 8 月 2 6 日～2 8 日の巡回調査では、発生ほ場率 5 4 . 5 % (平 年 2 5 . 0 %) 、 寄 生 葉 率 9 . 5 % (平 年 2 . 8 %) で 平 年 に 比 べ 多 か っ た (図 1) 。
- (2) 防除の必要なほ場の割合は 1 3 . 6 % (平 年 2 . 3 %) で、過 去 1 0 年 で 最 も 高 っ た (図 2) 。

2 今後の予想

- (1) 発生地域 県内全域
- (2) 発生程度 多
- (3) 被害の予想

ミカンハダニは 8 月の高温期に発生が抑えられるが、8 月下旬～9 月上旬になると急増し、秋期には葉より果実に寄生が多くなる傾向がある。本年はカンキツ類の裏年に当たるため、果実被害が多くなるおそれがある。

3 防除対策

ほ場を確認し、ハダニの発生が多い園では直ちに防除を実施する。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 防除の目安は、雌成虫の寄生葉率が 3 0 ～ 4 0 % 以上、または 1 葉当たり雌成虫数 0 . 5 ～ 1 頭以上である。
- (2) 薬剤が果実や葉裏にもかかるよう、十分な薬量で丁寧に散布する。
- (3) ハダニ類は薬剤に対する抵抗性がつきやすいので、同一薬剤の連用及び同一系統の薬剤の輪用は避ける。
- (4) 適正な散布作業の実施や農薬使用基準の遵守など、安全で効果的な防除に努める。

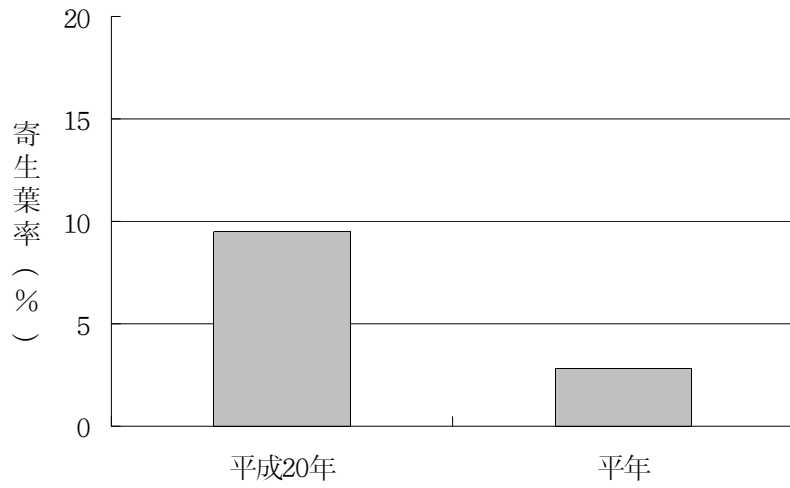


図1 ミカンハダニ寄生葉率（8月下旬）

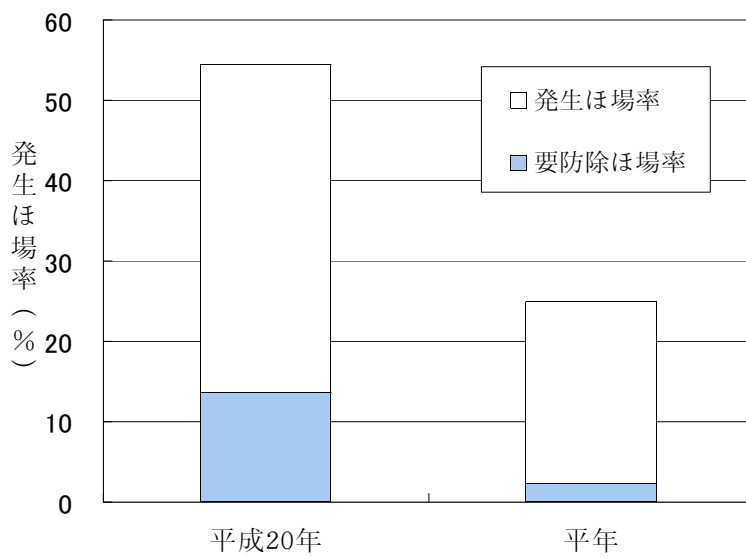


図2 ミカンハダニ発生ほ場と要防除ほ場の状況